

SUPER CITY
SMART CITY
FORUM 2022

すべてを
突破する。
TOPPA!!!
TOPPAN

住民目線で地域に行動変容を起こす
～DXサービスがもたらすWell-Being～

2022年8月26日

凸版印刷株式会社
執行役員 柴谷浩毅

スーパーシティ・スマートシティ 活動参加者間の連携促進

スーパーシティやスマートシティの取り組みは、提供するサービスが住民によって利用され、運用され、住民の生活の変容を伴う価値とインパクトを生み出してゆくことが肝要

地域での協働環境づくりを行うために重要となる3つの観点

1. 住民目線の重要性
2. スモールスタートからの段階的拡大とフィードバックプロセス
3. コミュニケーション設計

地域に行動変容を起こすトッパンの取り組み

住民目線での事業開発

スモールスタートから
持続可能な取り組みへ

現地雇用拡大・地域活性化

住民ポータルアプリ 「クラシラセル」の事例

つくば市スマートシティアプリ
『つくスマ』



キャッシュレス決済基盤 「地域パイ」の事例

地域共創プラットフォームの構築
香美市『kamica』



DXを推進する 新たな開発拠点

地方環境を活用した地域の
人々や企業との交流による
新事業創出



地域に行動変容を起こすトッパンの取り組み

住民目線での事業開発

住民ポータルアプリ 「クラシラセル」の事例

つくば市スマートシティアプリ
『つくスマ』



スモールスタートから
持続可能な取り組みへ

キャッシュレス決済基盤 「地域パイ」の事例

地域共創プラットフォームの構築
香美市『kamica』



現地雇用拡大・地域活性化

DXを推進する 新たな開発拠点

地方環境を活用した地域の
人々や企業との交流による
新事業創出



自治体ポータルサービス「クラシラセル™」



『つくスマ』画面イメージ

つくば市様

つくばスマートシティアプリ『つくスマ』

2022年4月よりつくば市において『つくスマ』を運用開始。
多言語での情報発信に加え、ナビゲーションやマップなどの各種機能により、
住民の利便性、暮らしやすさ向上に貢献

※『つくスマ』の制作には、
自治体ポータルサービス「クラシラセル™」が使用されています。

住民の「情報格差」をなくすDXソリューション



クラシラセル™

自治体ポータルサービス「クラシラセル」の概要

「個人情報」は扱わずに、自治体情報やサービスを住民に「探させる」から「届ける」へ



1 住民の属性や関心事のみの登録で
パーソナライズされた情報発信が可能

2 住民からの問い合わせ削減に寄与する
ナビゲーションやマップ機能

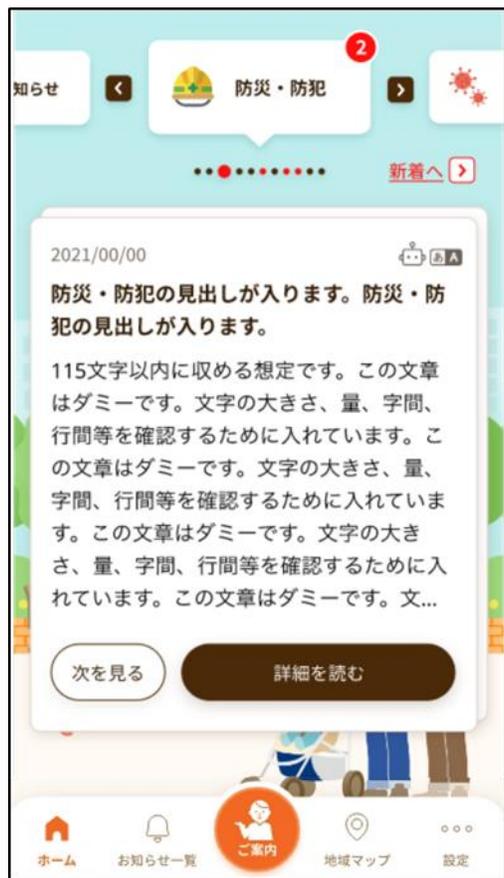
3 住民を各種自治体サービスへ誘導する
自治体用ゲートウェイ

※画面デザインは変更の可能性があります。

「クラシラセル」基本機能

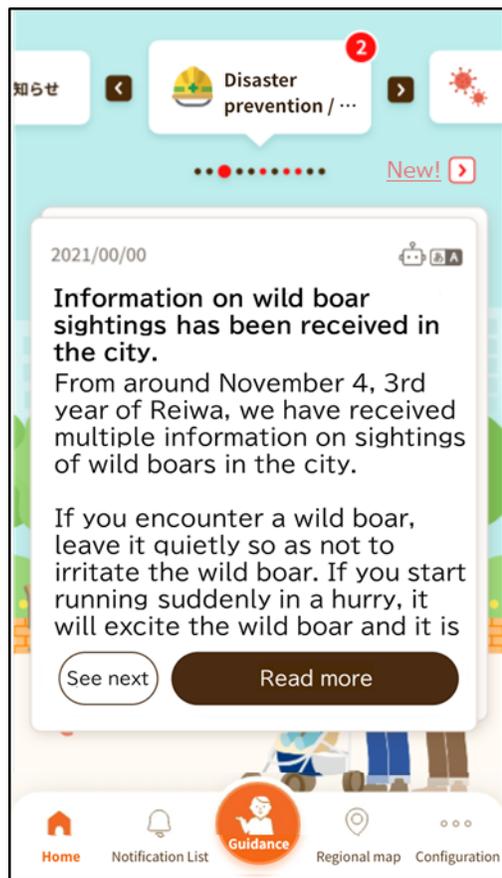
パーソナライズプッシュ配信

登録された情報に応じて
パーソナライズして情報を発信



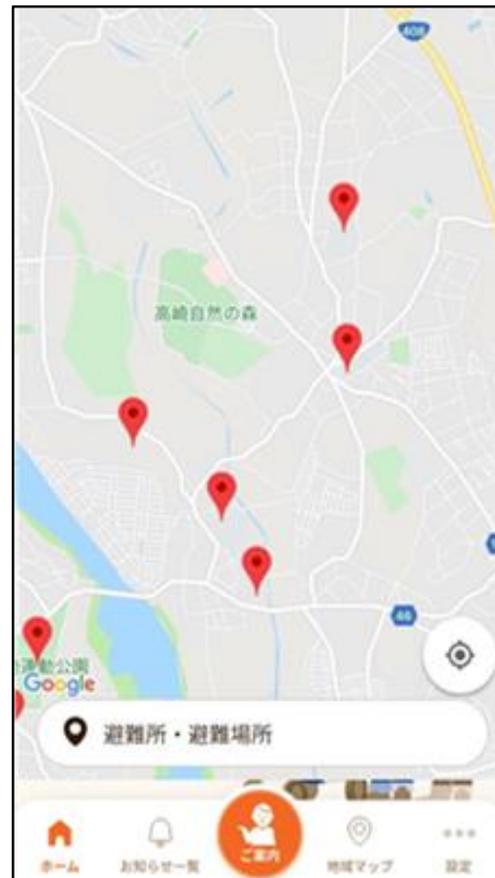
多言語自動翻訳

自動翻訳を活用して容易に外国人に
向けての情報発信が可能



地域マップ

地域ならではの情報を
マップ上に表示



ご案内ナビゲーション

選択回答式で
住民のお困りごとを解決



※画面デザインは変更の可能性があります。

クラシラセルリリースまでのプロセス

住民、企業、自治体の多くの方と対話を行い、「共創」で創り上げた

1



仮説検証

- ・実現したい世界観を言語化・ビジュアル化し、自治体様へサービスコンセプト提案を実施
- ・ターゲットとなる住民の方へのインタビューも実施

2



共創パートナー自治体様の獲得

- ・「共創」の形でのサービスリリースをつくば市様へトッパンから提案
- ・双方で住民・職員の現場視点で必要な機能を討論、サービスをブラッシュアップ

3

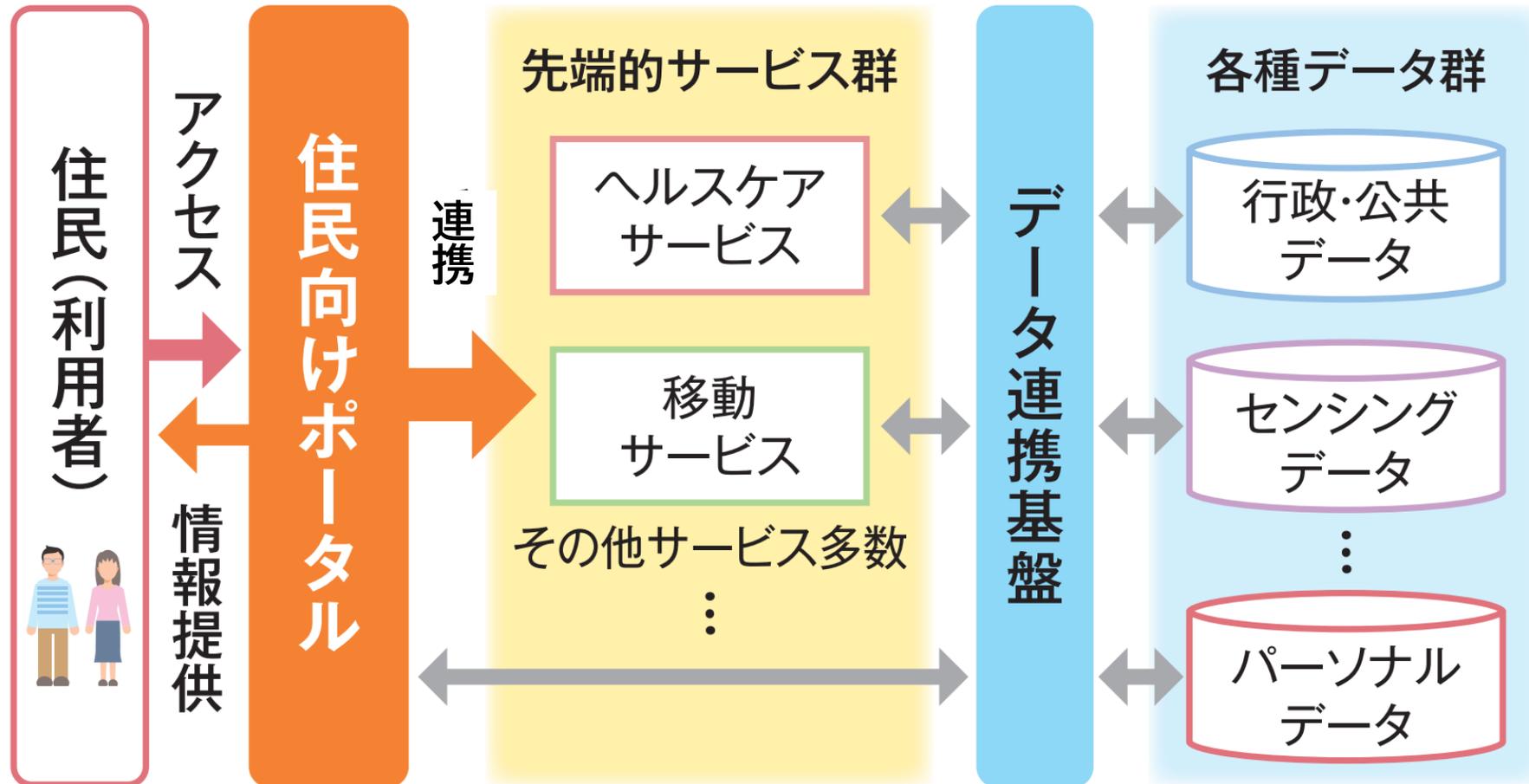


ユーザー視点の機能、UIの設計

- ・住民に最適化された情報発信を実現する中で、住民からの情報提供はいかにライトにするか
- ・住民が大切な情報にすぐに気づけ、読みやすくなるにはどんなUI・機能であるべきか

今後の機能拡張 ～「住民ポータル」として連携拡大

住民が自治体サービスへアクセスする際の
デジタル窓口「住民向けポータル」として、各種サービスとの連携を実現。



地域に行動変容を起こすトッパンの取り組み

住民目線での事業開発

スモールスタートから
持続可能な取り組みへ

現地雇用拡大・地域活性化

住民ポータルアプリ 「クラシラセル」の事例

つくば市スマートシティアプリ
『つくスマ』



キャッシュレス決済基盤 「地域パイ」の事例

地域共創プラットフォームの構築
香美市『kamica』



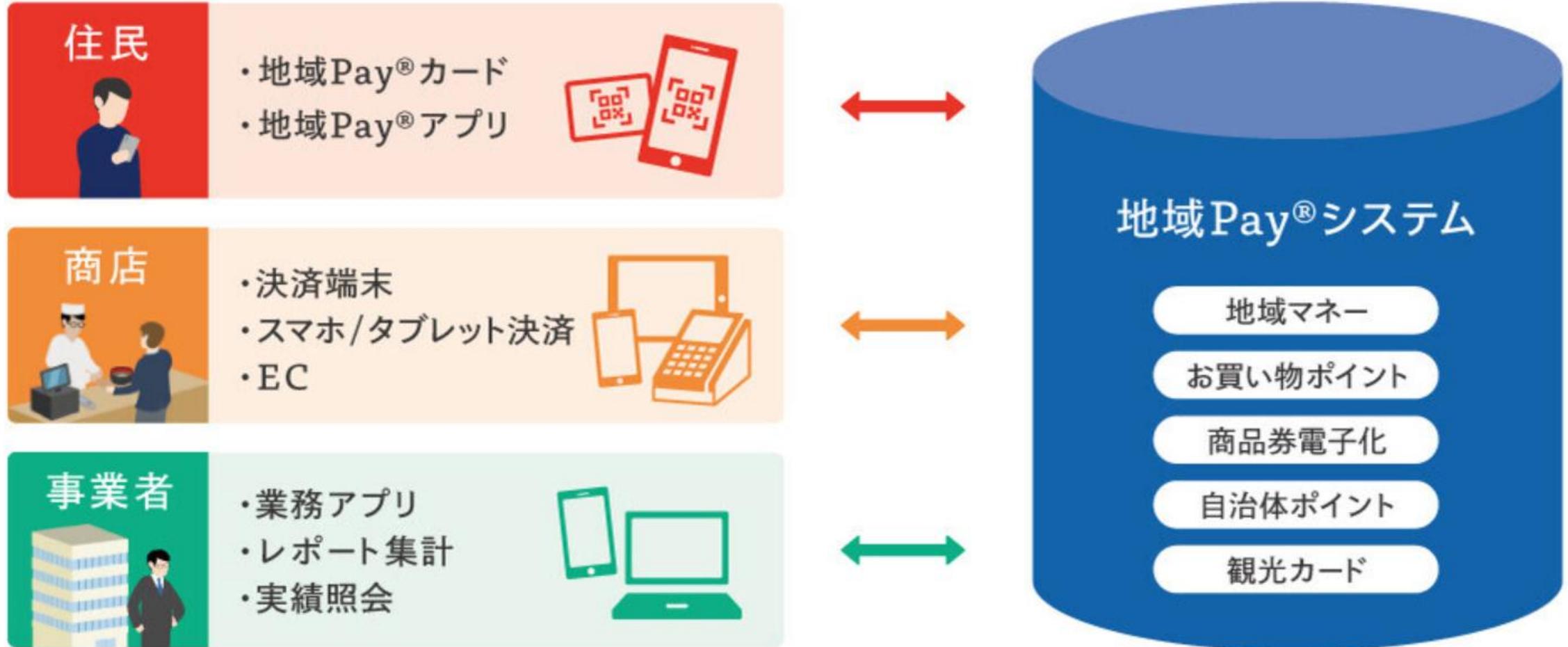
DXを推進する 新たな開発拠点

地方環境を活用した地域の
人々や企業との交流による
新事業創出



キャッシュレス化を地域活性化につなげる「地域Pay®」

自治体などが独自の地域電子マネーを運用するための決済プラットフォーム



「地域Pay®」導入実績

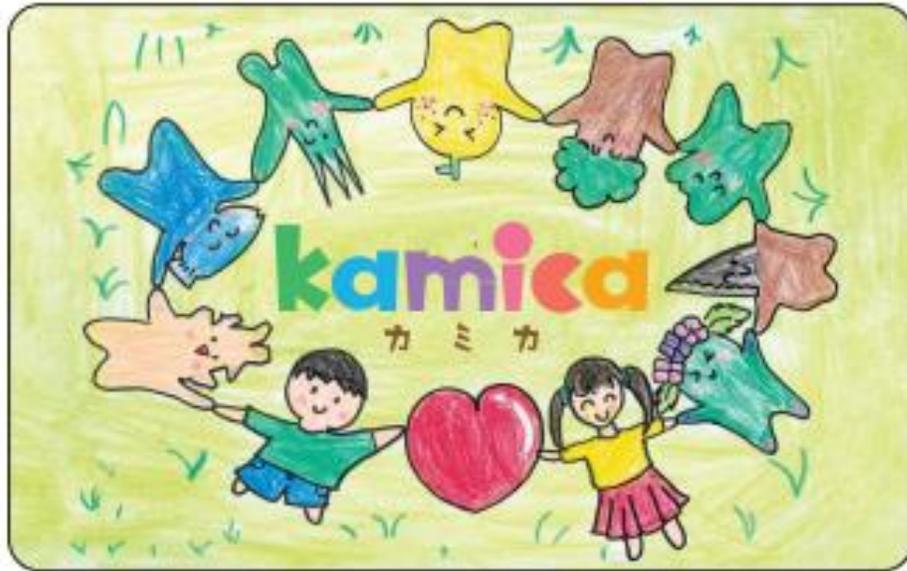
自治体や地域独自のPayサービスでキャッシュレス&デジタル化を同時促進

導入自治体	展開サービス	補助事業
長野県岡谷市(4.8万人) 『Okaya Pay』	地域電子マネー お買い物ポイント ボランティアポイント	地域まちなか商店街活性化支援事業(経産省) ※マイナポイント事業にも参加
武蔵小山商店街 『PALM POINT&MONEY CARD』	地域電子マネー お買い物ポイント	都・区の予算活用
北海道浜中町(0.6万人) 『ルパン三世Pay』	地域電子マネー 自治体ポイント	面的キャッシュレス・インフラの構築支援事業(経産省)
島根県美郷町(0.5万人) 『みさと。Pay』	地域電子マネー 自治体ポイント オンデマンド交通カード	面的キャッシュレス・インフラの構築支援事業(経産省)
高知県香美市(2.6万人) 『kamica』 加盟店:105店舗	地域電子マネー お買い物ポイント	市の予算活用(臨時交付金※コロナ給付金)

22年度は、新たに10自治体にて立ち上げを準備中

香美市の地域電子マネー「kamica（カミカ）」

地域経済の活性化とキャッシュレス推進を目的に、市と市商工会が連携して「地域Pay[®]」を活用市内の加盟店のみ使える地域電子マネー「kamica(カミカ)」を導入



※kamicaカードイラスト、
名称は小中学生から募集

「持続可能な地域電子マネー」を目指すために必要なもの

地域電子マネーへの

接触機会を増やす

+

利用を促進する
インセンティブの確保

住民と商店の地域電子マネーへの
「関心・理解」と「お得感(実利)」が

継続的な地域電子マネー利用による域内経済の好循環を実現

「kamica」 活性化に向けた実証実験

「地域電子マネーへの接触機会」が住民の行動変容に及ぼす影響と
「継続したインセンティブ創出の仕組み」が実現可能かについて検証

PoC①

リサイクル活動との連携



ペットボトル・アルミ缶・古紙
の回収で「kamica」を発行

PoC②

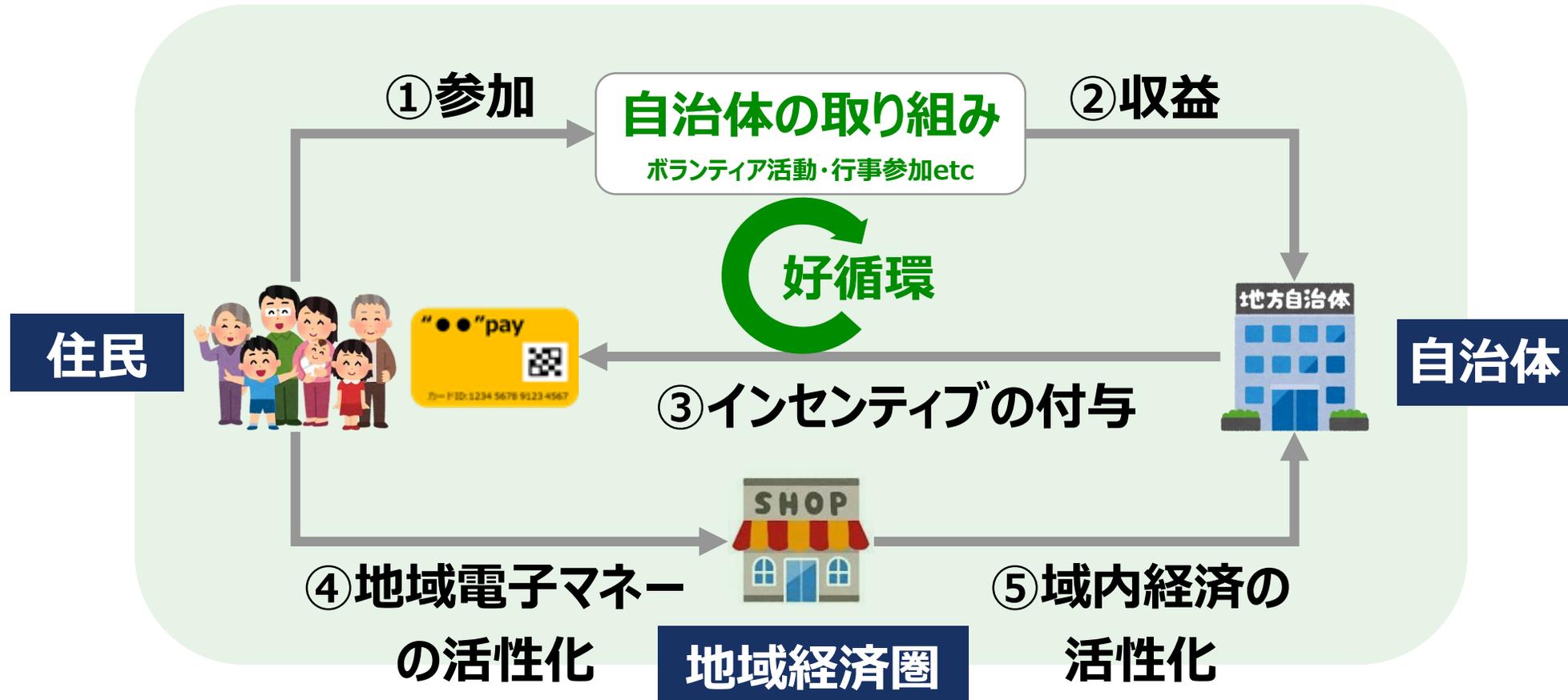
フードロスへの取り組み



賞味期限間近な商品購入で
「kamica」を発行

さらなる地域電子マネーの発展を目指して

自治体主催の事業への参加や調査への謝礼など、自治体の事業のインセンティブとして定着させることで地域経済圏の消費が循環する持続可能なスキームへ



地域に行動変容を起こすトッパンの取り組み

住民目線での事業開発

住民ポータルアプリ
「クラシラセル」の事例

つくば市スマートシティアプリ
『つくスマ』



スモールスタートから
持続可能な取り組みへ

キャッシュレス決済基盤
「地域パイ」の事例

地域共創プラットフォームの構築
香美市『kamica』



現地雇用拡大・地域活性化

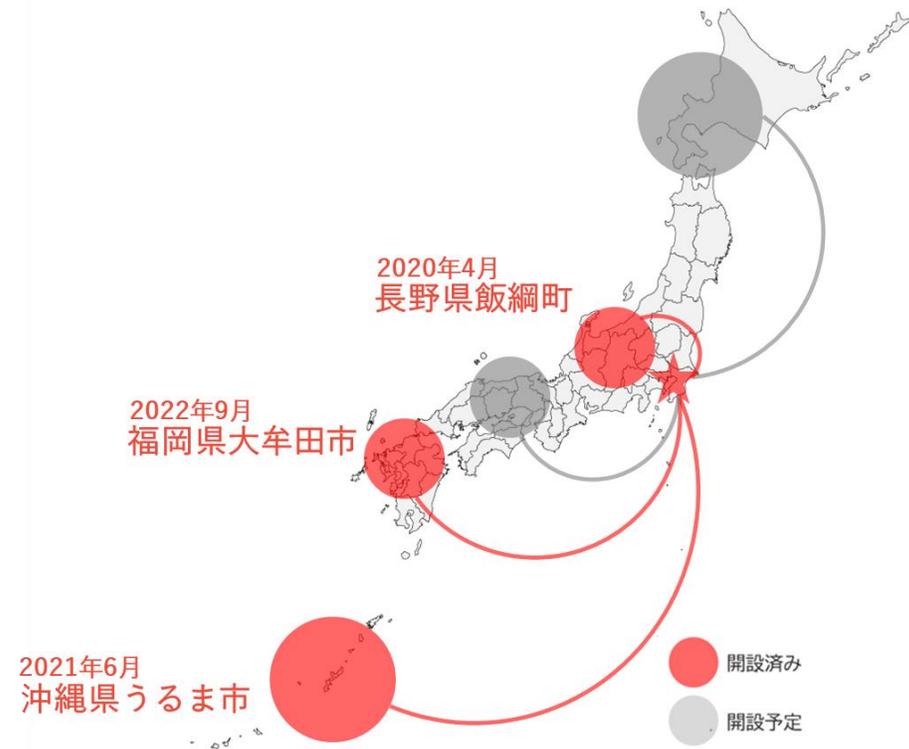
DXを推進する
新たな開発拠点

地方環境を活用した地域の
人々や企業との交流による
新事業創出



ICT KŌBŌ とは

DXを推進する新たな開発拠点



システム開発体制とデジタル人材の強化

地方環境を活用した地域の人々や企業との交流による**新事業創出**

現地雇用拡大などの**地域活性化**を目指す

ICT KŌBŌでの取り組み【地域課題の解決】

「RemoPick™」 スマートグラスとタブレット等を用いて遠隔地をリアルタイムに繋ぎ、スムーズなコミュニケーションを実現するサービスを開発

飯綱町のりんご園場と大阪のマルシェ会場をリアルタイムで接続し、来場者に遠隔で収穫体験を提供

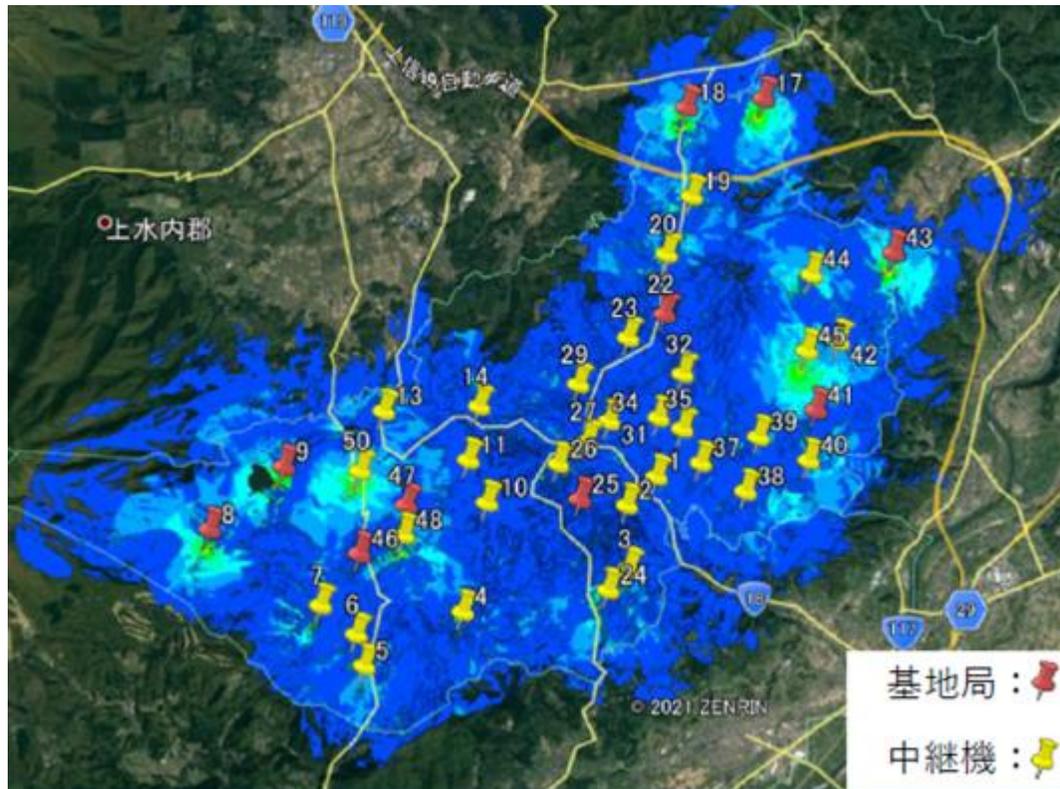


ICT KŌBŌでの取り組み【地域課題の解決】

LPWA ZETAによる行政業務効率化支援

飯綱町役場DX推進室長と意見交換をする中で、行政業務における様々な課題が判明
町内全域にLPWAセンサーネットワーク敷設し、町内のありとあらゆるものをセンシングで管理

 ZETA 広範囲、低消費電力、低コストを実現するLPWA(Low Power Wide Area)ネットワーク



・防災

河川・配水池・ため池の水位監視、雨量監視

・獣害

鳥獣被害対策 - 罾検知



・積雪

積雪量の監視、GPSによる除雪車の移動管理



・高齢者の見守り

一人暮らしの高齢者のご自宅へのセンサーの設置

・農業

複合センサー(気温・風速等)による水田管理、サクラノボ栽培監視

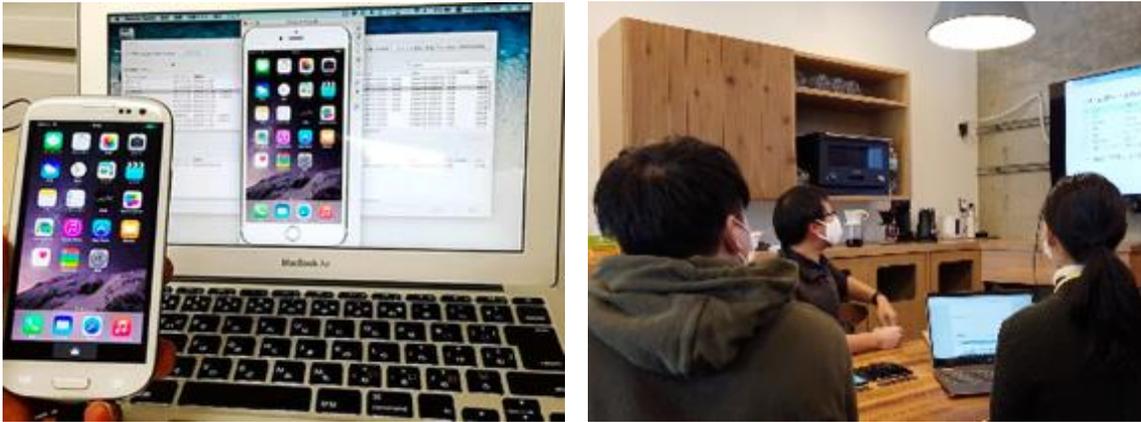


ICT KŌBŌでの取り組み【雇用創出・人財採用】

● 検証支援ビジネス

開発したアプリケーションをお客様へ送り出す前に必要な工程「テスト」は、プログラム中の不具合(バグ)やシステムの欠陥を発見するために必須作業

➔ 飯綱町民の方にシステムテスト業務を依頼



雇用創出 + 地元住民のITリテラシーの向上

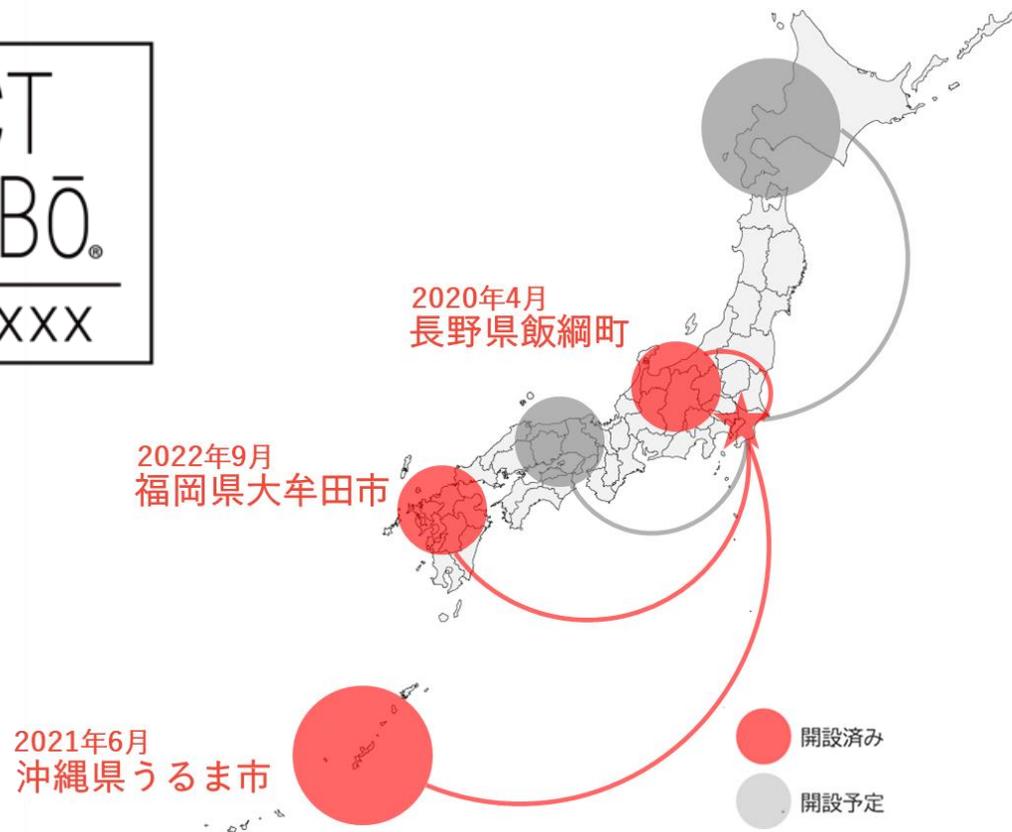
● インターン受け入れ

システム開発体制とデジタル人財の強化に向け、地元の教育機関と連携し、受け入れを実施（2021年度 17名）



地方大学生の職業選択の幅を広げ、
地元で働きたい若手人財の受け皿へ

ICT KŌBŌの展望



【2025年計画】

- ・既存ソリューションの全国展開
- ・他地域での課題の掘り起こし
- ・新たなソリューションの開発
- ・各拠点における人員強化
- ・全国5拠点体制へ

多角的なソリューション開発・提供に継続して取り組み
誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を実現することを目指す

まとめ：地域に行動変容を起こすトッパンの取り組み

住民ポータルアプリ 「クラシラセル」の事例

つくば市スマートシティアプリ
『つくスマ』

住民目線での事業開発

キャッシュレス決済基盤 「地域ペイ」の事例

地域共創プラットフォームの構築
香美市『kamica』

スモールスタートから
持続可能な取り組みへ

DXを推進する 新たな開発拠点

地方環境を活用した地域の
人々や企業との交流による
新事業創出

現地雇用拡大・地域活性化

住民との協働環境は、スーパーシティやスマートシティに関与する主体が
直接住民と接することによって生まれる



トッパンは、現場目線で、
スマートシティの本格実装をご支援致します。

すべてを突破する。
TOPPA!!!
TOPPAN

【お問い合わせ】

<https://solution.toppan.co.jp/secure/inquiry/>

